

科目名	基礎工学演習 II	科目コード 41230
------------	------------------	----------------

学科名・学年	物質工学科 2年	担当教官	加藤 正直 (物質)		
単位数	1 単位・必履修	開講期間	後期	時間数	30 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(26), 演習(0) 実験(0), その他(4)
教科書	庄野利之 監修: 分析化学演習 (三共出版)				
補助教材	プリント				
参考書					

A 科目の概要	
<ul style="list-style-type: none"> 前後期通して開講される分析化学の知識をさらに深めるために、演習を通して分析化学を習熟する。 	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 化学平衡を理解する。 酸塩基平衡の概念と計算に習熟する。 錯体生成反応について理解する。 沈殿平衡、錯形成反応を理解する。 	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	
D 履修上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> 分析化学の知識が必要である。 	
E 評価方法	
定期試験【0%】(前期中間(0), 前期末(0), 後期中間(0), 後期末(0))、その他の試験【0%】 (授業中の小テスト)、レポート【100%】、その他【0%】	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	導入	
2	物 質 量 と 濃 度	
3	質 量 作 用 の 法 則、 活 量 と 活 量 係 数	
4	強 酸 と 強 塩 基	
5	弱 酸、 弱 塩 基 の 水 溶 液	
6	弱 酸、 弱 塩 基 の 水 溶 液 その 2	
7	弱 酸 の 塩 の 水 溶 液	
8	中 間 の ま と め	
9	共 役 酸 塩 基 対	
10	多 塩 基 酸 と 多 酸 塩 基	
11	緩 衝 液	
12	溶 解 度 と 溶 解 度 積	
13	分 別 沈 殿	
14	分 配 平 衡	
15	ま と め	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		